



教師を目指す学生による「学生文化」「学校文化」の創造と
新たな「学生と学校のWin-Winの関係」の構築

東浦町SP通信

～東浦町では、学生ボランティアを「職員の仲間」という思いを込めて、
「SP」または「スクールパートナー」と呼んでいます。～

第43号

2022年1月4日

編集 緒方 なな
東浦町教育委員会
SPコーディネーター

「わくわく算数教室」4日目

1月4日、2022年初めての「わくわく算数教室」が無事開催されました。新年早々にも関わらず、今日一日で子どもとSPさん合わせて100名以上の人が片葩小にやってきてくれました。これだけの人が1月4日に集まるなんて……。それだけ子どもたちが「わくわく算数教室」を楽しみにしているのだということがよく分かります。「やっとなくわく算数教室だ～！」と笑顔で教室に入ってくる児童もいました。早い大学は今日から、多くの大学では明日から講義が始まるそうです。そんな中でも、“現場での学び”を大切に考えている学生さんが東浦町のSP活動に登録してくれています。ありがたいと共に、こんなに意欲・意識の高い学生さんが教師を目指してくれているのだと、一保護者として嬉しく思います。やはり“やる気のある先生”“バイタリティ溢れる先生”が学校にいてくれると嬉しいものです。東浦町に来てくれるSPさんはみんな、そんなやる気とエネルギーに溢れる人ばかりです。

今日の「わくわく算数教室」も、笑顔溢れる最高に充実した算数教室になりました。なぜそんなに笑顔溢れる“Happy”な学習の時間になるのか。これはSPさんの力以外、何ものでもありません。写真と共に“SPさんの力”をお伝えしていきたいと思います。



←午前の部の司会は、祖父江SPがやってくれました。祖父江SPは現在大学3年生。大学1年生の冬休みからわく算に参加し、片葩小でウィークリーSPとしても活動をしてきているベテランSPさんです。祖父江SPが作る明るく元気な雰囲気、年明けのわく算がスタートしました。子どもたちに問いかけながら、とてもよい始まりの雰囲気を作ってくれました。

午後の部の司会は、スピリットメンバーの伊藤SPが行ってくれました。普段は物静かな雰囲気の伊藤SPですが、子どもの前に立つと一転。すでに“先生らしい”オーラがありました。きっと何を話しか、事前によく考えて準備してきたのでしょう。押さえるべきところをしっかりと押さえて、子どもたちに確認をしていました。→



←今日は算数教室の会場「なかよし音楽ひろば」に上がる前の2階でもSPさんが立って出迎えをしてくれました。写真には映っていませんが、算数教室が終わった後の消毒や片付け、次の算数教室の準備もSPさんがしてくれています。また、子どもたちの下校についてくれるSPさんもいます。SPさん同士が様子を見て、それぞれちょうどよい人数になるように調整して動いてくれています。こうした算数教室の陰でのSPさんの動きが本当に素晴らしいのです。まさに「痒い所に手が届く」仕事をしてきています。子どもたちが算数の勉強に打ち込めるのも、SPさんの陰での支えがあるからこそです。



子どもたちが、前のめりになって算数の勉強をする姿があるのが「わくわく算数教室」です。普段の授業や家では、ここまで前のめりになって勉強することは少ないでしょう。低学年の児童も、身を乗り出して「算数の問題」に取り組んでいます。とても集中しています。SPさんが寄り添ってくれるから、徹底的に自分を見てくれるから、待ってくれるから、ここまで集中して頑張ることができます。かけがえない学習の時間です。



←井上SPは、タブレットを持参してくれていました。もはやスタンダードになりつつある、学校でのタブレットを活用した授業。子どもたちの中では普通の光景になってくるからこそ、先生が指導のツールの一つとして“上手く”活用していかなければなりません。こうした実践の場で、どんな使い方がよいのか、どんな工夫ができるのか、子どもはどんな反応をするのか、実感することができます。SPさんにとっても最高の学びの場です。

感染症対策の観点から、一部屋の人数を減らすために高学年は別の教室で学習をしています。高学年が勉強している教室は、やはり雰囲気が違います。全員とても集中して、静かに算数の学習に取り組んでいます。1年生の時から毎年参加をしている高学年児童もちらほら。リピーターが多いのも「わくわく算数教室」の特徴です。「わく算に来ると、どんどん進められるんだよね」「中学に行ってもあるといいな」そんな声が子どもたちから聞こえてきました。→



←子どもたちは先生問題が大好き！プリントを印刷するちょっとした待ち時間もSPさんは上手に子どもたちの学習の時間にしてくれます。花丸を工夫したり、「Very Good!」などの言葉を添えたりするなどの一工夫を加えて答え合わせもしてくれるので、子どもたちはどんどん自信がついていきます。自信は「自ら学ぼう」という意欲にもつながります。SPさんは、「わくわく算数教室」のねらいをよく理解して、子どもたちに接してくれています。

SPさんのこの優しい眼差しと笑顔が、子どもたちにとって何よりもの支援です。どのSPさんも笑顔で接してくれます。笑顔の力は偉大だと、毎度「わくわく算数教室」で実感します。→

